

## 「デジテック・オープンイノベーション」の採択について

採択した取組は、下記のとおりです。

過疎地域の課題解決を目指す新スマート物流の取組		
◎ 株式会社 エアロネクスト (東京都)	セイノーホールディング 株式会社 (岐阜県)	美祢市
<p>美祢市では、小規模な集落が広く点在しており、商店や飲食店も少なく、また人口の約44%を高齢者が占めるなどの理由で、日常の買い物など生活利便性の維持が求められています。</p> <p>また、運送業界においては、人手不足や採算性から特に過疎地域における配送維持が課題となりつつあります。</p> <p>そこで、物流の最適化を目指し、ラストワンマイルの輸送手段にドローン配送を組み込み、地上輸送とドローン配送を連結、融合する新スマート物流システムの導入により、買い物代行や災害時支援、医薬品配送等を行う仕組みをつくり、課題の解決を目指す実証実験に、民間企業と行政が協働して取り組みます。</p>		

施設の利用をスマホ1つで可能に！		
◎ 山口市	株式会社 Tsumug (福岡県)	LINE 株式会社 (東京都)
<p>山口市では、公共施設の利用手続きなどを、スマートフォンで完結できるようにして欲しいというニーズが、特に若者世代から多く寄せられています。</p> <p>そこで、地域交流センター等の地域に開放している公共施設を対象として、予約、決済、スマートキー等の機能をLINE上で展開し、時間や場所にとらわれずに、施設の利用手続きから使用料納付、鍵管理までを、スマートフォン1つで行うことのできる仕組みの導入に向けた実証実験に、民間企業2社と行政が協働して取り組みます。</p>		

道の駅を拠点とした中山間地域の生活利便性向上		
◎ 株式会社 フォーバル (東京都)	株式会社 ピュアラインにしき (岩国市)	社会福祉法人 岩国市社会福祉協議会
<p>岩国市の中山間地域では商店がなくなり、高齢者にとって買い物が不便となっています。また、独居者も増え、お互いのつながりも少なくなっています。</p> <p>そこで、小売・飲食などの複数の住民生活に必要な機能がある「道の駅」を支援拠点として位置づけ、高齢者向けの簡易アプリや通信システムを用いて生活情報の発信や買い物代行などを行う仕組みづくりや、オンライン医療相談などのサポートも行っています。</p> <p>社会実装に向けた実証実験に、民間企業と道の駅、社会福祉協議会の3者が協働で取り組みます。</p>		

◎は代表提案者